

製品安全データシート

作成日：2002 年 4 月 1 日

改訂日：2026 年 9 月 7 日

1. 化学品及び会社等の情報

製品名	ペンタエリスリトール (PENTA)
化学品の名称	ペンタエリスリトール／Pentaerythritol
供給者の会社名称	アーク株式会社
本社住所	大阪府大阪市中央区安土町 3 丁目 5-13
電話番号	06-6563-7710
FAX 番号	06-6563-7720
緊急連絡電話番号	06-6563-7710

2. 危険有害性の要約

GHS 分類	JIS Z 7252：2025 及び JIS Z 7253：2025（GHS に基づく化学品の分類方法及びラベル・SDS の作成方法、GHS 第 9 版準拠）に基づき分類
物理化学的危険性	該当区分なし
健康に対する有害性	該当区分なし
環境に対する有害性	該当区分なし
GHS ラベル要素 （絵表示又はシンボル）	なし
GHS ラベル要素 （注意喚起語）	なし
GHS ラベル要素 （危険有害性情報）	なし
GHS ラベル要素 （注意書き）	なし

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	化学物質
化学名	ペンタエリスリトール
濃度又は濃度範囲	>98%
化学式	C (CH ₂ OH) 4
CAS No.	115-77-5

化審法	官報公示整理番号 (2)-248 (既存化学物質)
安衛法	公表化学物質 (昭和 54 年 6 月 29 日までに化審法の規定により公示された化学物質)。名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 (安衛法施行令別表第 9) には該当しない。

4. 応急措置

眼に入った場合	直ちに大量の水で少なくとも 15 分間洗い流す。
皮膚に付着した場合	直ちに大量の石けんおよび水で洗い流す。汚染した衣服は再使用前に洗浄する。
吸入した場合	新鮮な空気の場所へ移す。呼吸停止の場合は人工呼吸を行う。呼吸困難な場合は酸素吸入を行う。
飲み込んだ場合	誤飲した場合は口を水ですすぐ。医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	散水、泡、水噴霧、二酸化炭素
特有の消火方法	消火作業は風上から行い、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いる。関係者以外は安全な場所に退去させる。周辺火災時、移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。
消火を行う者の保護	消火作業の際は必ず保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する予防措置、保護具及び緊急時措置	適切な保護具を着用し、ダストを生じさせないように注意する。
環境に対する予防措置	漏洩物が環境中に排出されないよう区域を管理する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	掃除し、廃棄用袋に収納して保管する。漏洩物を完全に除去し、区域を換気の上、清掃する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	粉塵の吸入を避ける。眼、皮膚、衣服との接触を避ける。取扱後は完全に洗浄する。粉塵爆発のおそれがある。
保管	密封して冷暗乾燥場所に保管する。多くの粉体材料同様に粉塵爆発を引き起こすことがある。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	ACGIH TLV (TWA) 10 mg/m ³ OSHA PEL (TWA) 15 mg/m ³ (総粉じん)、5 mg/m ³ (呼吸性粉じん)
設備対策	安全管理・ガスの検知、測定器、検知管を整備する。
貯蔵上の注意	密封して冷暗乾燥場所に保管する。多くの粉体材料同様に粉塵爆発を引き起こすことがある。
保護具	換気を行う。呼吸用保護具、保護手袋を着用する。安全シャワー、安全ゴーグル、洗眼器を設置する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	固体
形状	結晶または粉末
色	白色
臭気	情報なし
融点	250℃
沸点又は初留点及び沸騰範囲	276℃/4.0kPa
可燃性	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	450℃
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	下限：情報なし 上限：情報なし
pH	情報なし
蒸気圧	2.0kPa/25℃
溶解度	冷水に徐々に溶ける。熱水に易溶。アセトン、エーテル、四塩化炭素、ベンゼン、酢酸エチルなど有機溶媒にはほとんど溶けない。
オクタノール/水分配係数	-1.69

10. 安定性及び反応性

反応性	情報なし
化学的安定性	適切な条件下においては安定
危険有害反応可能性（加熱・燃焼）	危険性有
危険有害反応可能性（水との接触）	危険性無
危険有害反応可能性（空気との接触）	危険性無
混触危険物質	強酸化剤、強酸、酸クロライド、酸無水物

危険有害な分解生成物	二酸化炭素、一酸化炭素
------------	-------------

11. 有害性情報

皮膚に触れた場合	皮膚吸収は有毒である。刺激がある。
眼に入った場合	刺激がある。
吸入した場合	吸入、飲み込みは有毒である。
急性毒性（経口、LD50）	マウス 25,500 mg/kg、ラット 10,000～19,500 mg/kg、ウサギ 18,500 mg/kg、モルモット 11,300 mg/kg
反復投与毒性	ラット 46 日間経口投与試験：無有害作用量（NOEL）100 mg/kg/day（300 mg/kg/day 以上で軟便・下痢）
変異原性	微生物を用いた復帰突然変異試験（エームズ試験）：陰性、CHL 細胞を用いた染色体異常試験：陰性

12. 環境影響情報

生態毒性（魚類）	48h LC50：50,000 ppm（ヒメダカ <i>Oryzias latipes</i> ）
生態毒性（甲殻類）	24h EC50：38,900 mg/L（オオミジンコ）
生態毒性（藻類）	14 日 EC50：>5,000 mg/L（セレナストラム）
残留性・分解性	13.2%（BOD）、5.1%（GC）。既存化学物質安全性点検による判定結果：難分解性
生体蓄積性（BCF）	0.3-0.6（10ppm）、0.2-2.1（1ppm）。既存化学物質安全性点検による判定結果：低濃縮性
土壌中の移動性	オクタノール/水分配係数：-1.69、土壌吸着係数：9、ヘンリー定数： 4.2×10^{-5} Pa・m ³ /mol
オゾン層への有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	適切な保護具を着用する。地方条例や国内規制に従う。許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。
------	--

14. 輸送上の注意

国連番号	非該当
国連分類	非該当
海洋汚染物質	非該当

15. 適用法令

消防法	非該当
毒物及び劇物取締法	非該当
労働安全衛生法	非該当
船舶安全法（危規則）	非該当
航空法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 （化管法・PRTR 法）	非該当
TSCA （米国有害物質規制法）	インベントリに収載
EINECS（EC 番号）	204-104-9

16. その他の情報

参考文献	①化学品安全管理データブック（化学工業日報社） ②NITE-CHRIP（化学物質総合情報提供システム、独立行政法人製品評価技術基盤機構、CAS 115-77-5） ③NITE J-CHECK（化審法データベース、CAS 115-77-5／官報公示整理番号(2)-248） ④厚生労働省 職場のあんぜんサイト（GHS 対応モデルラベル・モデル SDS 情報、安衛法名称公表化学物質等） ⑤国際化学物質安全性カード（ICSC No. 1383、ILO/WHO） ⑥一般財団法人化学物質評価研究機構（CERIJ）既存化学物質安全性（ハザード）評価シート（整理番号 98-7）
免責事項	本安全データシート（SDS）に記載した内容は、現時点で入手可能な資料及び情報に基づいて作成したものであり、記載内容の完全性及び正確性を保証するものではありません。また、本 SDS は今後、新たな知見や法令改正等により、予告なく内容を変更することがあります。お取引先各位におかれましては、本 SDS の情報を、当該製品を安全に取扱うための参考情報としてご利用いただき、実際の取扱いにあたっては、自らの用途・使用条件・作業環境等に応じて必要な安全対策を講じるとともに、関連法令を遵守してくださいようお願いいたします。 本 SDS は製品の品質を保証するものではなく、本 SDS の記載内容に関連して生じた損害について、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。